

学校だより

第3号

令和2年7月31日 発行

栃木県立那須特別支援学校

校長 加藤 豊



2学期に向けて

教頭 藤田 昌彦

6月15日から通常日課が始まり、児童生徒全員の明るい笑顔が学校に戻ってきてから1か月半が経ちました。子どもたちは「新しい生活様式」の学校生活の中でも、友だちや先生方との学習活動等に生き生きと、楽しそうに取り組んでいます。保護者の皆様にはこの間、スクールバスの2往復体制や送迎、健康チェック等に御理解と御協力をいただき、深く感謝いたします。本当にありがとうございます。

最近、大都市圏を中心に全国的に新型コロナウイルス感染者が再び増加しており、栃木県も例外ではありません。7月27日の県知事の記者会見で県の「感染拡大状況に関する警戒度」が3段階で中間の「感染拡大注意」に引き上げられました。その際に県民に要請された3つの感染拡大防止対策への御協力をお願いいたします。その3つの対策は、

- 1 マスクの着用、換気の徹底、「3つの密(密集、密接、密閉)」の回避など感染防止対策の徹底。
- 2 体調が悪い場合は仕事を休み、旅行や外出を控える。
- 3 感染防止対策が徹底されていない場所への外出を控える。

です。

2学期以降の学習活動や学校行事につきましては、感染状況等を迅速・正確に把握しながら、どのようにすれば安全安心に学習目標が達成できるか等を考え、計画・実施していきたいと考えております。運動会(小)・なとく祭(中・高・訪)の同日開催のように、時間を短縮し、時間差で、学部ごとに実施するなど、工夫していく予定です。感染のリスクを避ける取組と学びの保障の両立に向けて教職員一丸となって取り組み、子どもたちの成長をしっかりと支えていきたいと思っています。

8月24日から始まる2学期からは、スクールバスの登校便は、4台2往復体制から7台1往復体制に移行します。また、今後の感染拡大状況による変更の可能性もありますが、寄宿舎は現在の舎室1部屋あたり生徒1人体制から生徒2人体制にし、徐々に増員する予定です。

令和2(2020)年7月24日は本来ならば東京オリンピックの開会式が行われる予定の日でした。その前日の7月23日に、競泳の池江璃花子選手が国立競技場から全世界にメッセージを発信しました。「逆境からはい上がっていく時には、希望の力が必要です。1年後に希望の炎が輝いてほしい。」というものでした。現在、世界中の人々が逆境に立たされていますが、今後ワクチンや治療薬が開発され、今までどおりの、安全安心な教育活動ができる日が必ず来ると希望をもち、保護者の皆様と連携しながら日々の教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

学校の様子～日常が戻ってきました～



植物を育てよう

教室のベランダや花壇では、多くの学級が植物を育てています。「昨日より大きくなってるか？」毎日わくわくしながらお水をあげ、成長を観察しています。



交通安全教室

まず教室で交通安全や道路を渡る時のルールを学び、いざ実践！信号をよく見て左右を確認、慌てず落ち着いて横断することができました。



避難訓練

地震と火災を想定した避難訓練を行いました。あいにく雨だったため、避難場所は体育館。3密を避けて学部ごとに時間差で避難しました。

作業学習（リサイクル班）

感染防止のため、空き缶つぶしは休業中。中学部高等部ともに、牛乳パックを再生して、はがきやコースターを作っています。



寄宿舎入舎式

遠距離通学生 5 名からスタートした寄宿舎生活。女子も加わり、1 学期は 7 名の舎生が規則正しい集団生活を送っています。

御協力をありがとうございます！

マスクの御寄付については以前御紹介いたしました。その後、外池酒造様、渡邊酒造様、小嶋酒造様、栃木県教育委員会から消毒用アルコールを、栃木県高等学校教職員組合から経口補水液を、栃木県新型コロナウイルス対策本部から医療用ガウン 200 枚を寄贈いただきました。有効活用しております。



短い1学期でしたが、保護者の皆様には、送迎や検温、運動着等の毎日の洗濯など、多くの御理解と御協力をいただきありがとうございました。

ここにきて栃木県も感染者が増えていますが、2学期以降の行事(7/17 予定表配付)については、児童生徒の安全安心を第一に、状況をみながら随時検討してお知らせしたいと考えております。

